



2018年2月15日

報道関係各位

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

## 『仮想通貨に関するアンケート調査』

**仮想通貨購入者は3%、4人に1人は今後購入したい**  
～購入した仮想通貨は1位「ビットコイン」2位「リップル」3位「イーサリアム」～

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社は、Tカードを利用している20～69歳の男女1,501名に、インターネット上での意識調査「Tアンケート」によって、『仮想通貨に関するアンケート調査』を実施しましたので、お知らせいたします。

## ■仮想通貨に関するアンケート調査ダイジェスト

- 仮想通貨に興味・関心がある人は3割  
20代の男性の5割弱が仮想通貨に興味・関心あり
- 仮想通貨を理解している人は5割、4人に1人は今後勉強をしていきたい  
勉強手段の1位「インターネットで調べる」 2位「詳しい友人・知人に聞く」  
3位「本を買う」
- 仮想通貨を買った購入したことがある人は3%、4人に1人が購入したい  
購入している仮想通貨は1位「ビットコイン」 2位「リップル」  
3位「イーサリアム」
- 今後、仮想通貨が一般的にならないと思う人は8割

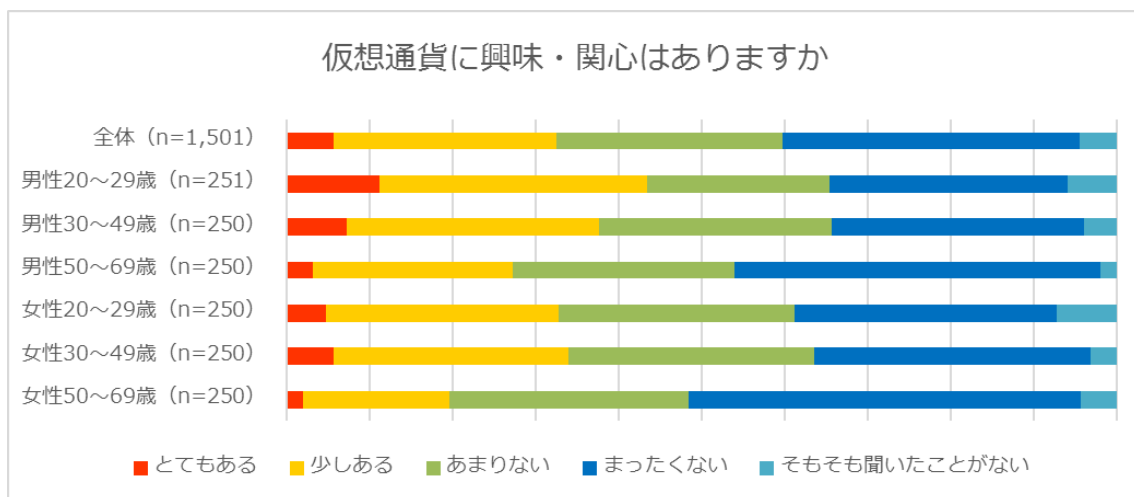
■プレスリリースに関するお問い合わせ：

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社  
広報担当：安藤  
TEL：03-6800-4464

● 仮想通貨に興味・関心がある人は3割  
20代の男性の5割弱が仮想通貨に興味・関心あり

昨年よりニュースなどで耳にする日は無いほど話題となっている「仮想通貨」。この「仮想通貨」に対しての興味や関心、また購入状況などを測るため、20～69歳の男女1,501名を対象にアンケートを実施いたしました。なお、本アンケートは、仮想通貨取引所のコインチェックからの仮想通貨流出問題が発生した直後の実査となります。

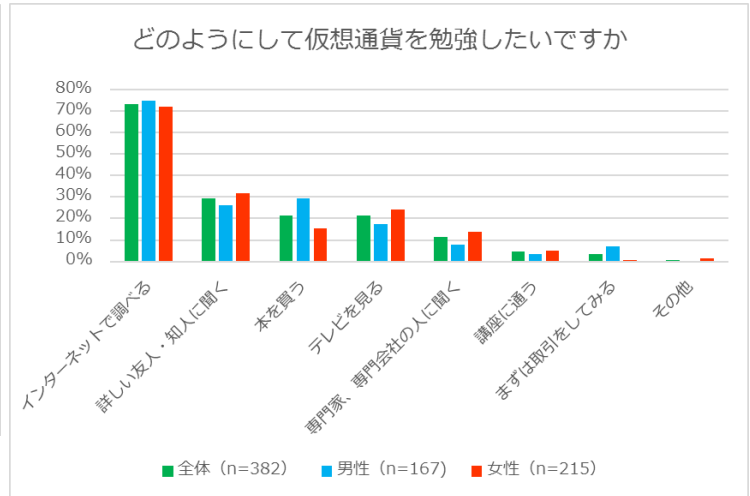
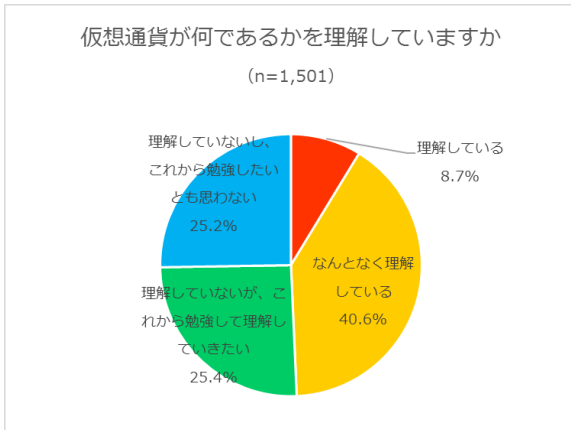
まず、「仮想通貨」に対してどのくらいの興味・関心があるのかを聞いたところ、「とてもある」「少しある」と回答をした人が32.5%となり、その中でも20代の男性では43.5%が仮想通貨に興味・関心があるとの結果となりました。また50～60代では45.6%が仮想通貨への興味・関心が「まったくない」と回答となり、「仮想通貨」は若年層、特に男性に興味・関心の意向が高いことが分かりました。



● 仮想通貨を理解している人は5割、4人に1人は今後勉強をしていきたい  
勉強手段の1位「インターネットで調べる」 2位「詳しい友人・知人に聞く」  
3位「本を買う」

続いて、「仮想通貨」をどのくらい理解しているのかを聞いたところ、「理解している」「なんとなく理解している」との回答が49.3%、「理解していないが、これから勉強して理解していきたい」との回答が25.4%におよび、興味・関心と比例して「仮想通貨」への理解度や理解することへの意向が高いことが分かりました。

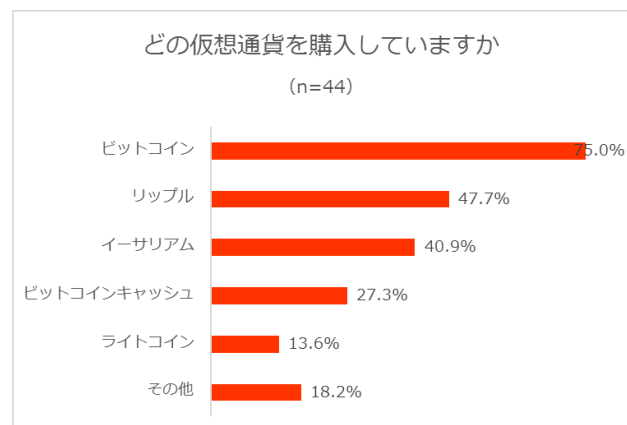
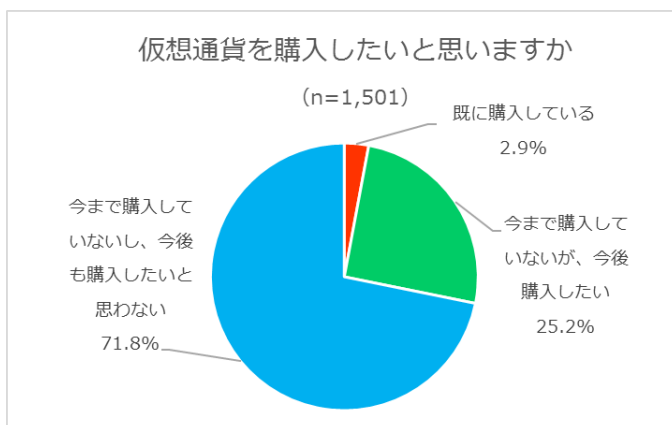
「これから勉強して理解していきたい」と回答をした382名に、どのような手段で勉強をしたいかを複数選択で聞いたところ、最も多かった回答が「インターネットで調べる」(73.3%)、続いて「詳しい友人・知人に聞く」(29.3%)、「本を買う」(21.5%)、「テレビを見る」(21.2%)、「専門家、専門会社の人に聞いてみる」(11.3%)となりました。なお、「まずは取引をしてみる」との回答をした人も3.4%いることが分かりました。この結果を性別で見ると、男性は比較的自分で調べて勉強をする傾向があることに比べて、女性は人から聞いて勉強をする傾向であることが見て取れました。



**●仮想通貨を買った購入したことがある人は3%、4人に1人が購入したい  
購入している仮想通貨は1位「ビットコイン」 2位「リップル」  
3位「イーサリアム」**

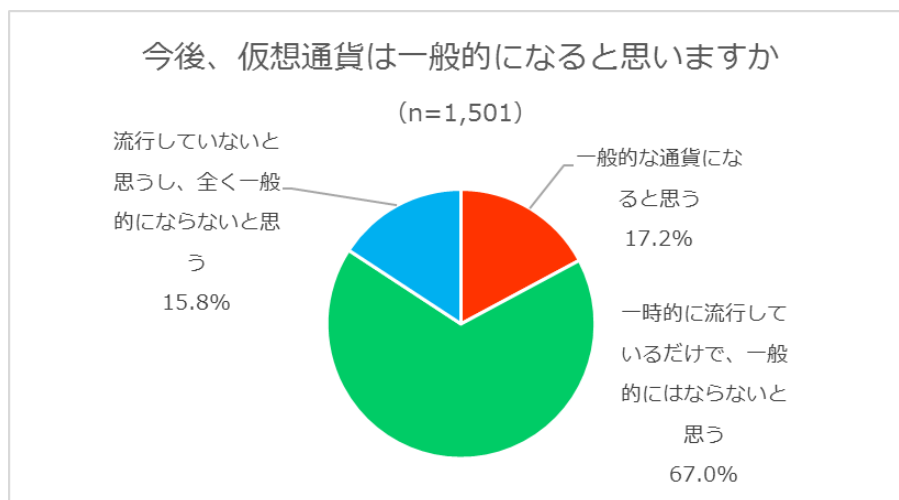
続いて、「仮想通貨」の購入意向を聞いたところ、「既に購入している」と回答をした人は2.9%、「今まで購入していないが、今後購入したい」と回答をした人は25.2%、「今まで購入していないし、今後も購入したいと思わない」と回答をした人は71.8%となりました。コインチェック問題があったものの、4人に1人は仮想通貨への購入意向があることが分かりました。

「仮想通貨」を購入していると回答をした44名に、どの仮想通貨を購入しているかを複数回答で聞いたところ、1位は「ビットコイン」(75.0%)、2位は「リップル」(47.7%)、3位は「イーサリアム」(40.9%)、4位は「ビットコインキャッシュ」(27.3%)、5位は「ライトコイン」(13.6%)となりました。



## ● 今後、仮想通貨が一般的にならないと思う人は8割

最後に、今後「仮想通貨」が一般的なものとなるかどうかを聞いたところ、「一般的な通貨になると思う」と回答をした人が17.2%にとどまりました。一方で「一時的に流行しているだけで、一般的にはならないと思う」と回答をした人が67.0%、また「流行していないと思うし、全く一般的にならないと思う」と回答をした人は15.8%と、「仮想通貨」が一般的にならないと思っている人は8割におよぶ結果となりました。



### ■ 調査概要

調査方法	インターネット（Tアンケート）
調査期間	2018年1月26日（金）～1月31日（水）
調査地域	全国
調査対象	20～69歳の男女（T会員）
サンプル数	1,501名